

【スクリプト】ログ開始・停止機能

[DT-MC04]

2020年3月2日 (X520001) (株)データ・テクノ

スクリプトにログ開始・停止機能が追加されました。
ロギング(SDカードへの記録)を途中で止めたり、再開したりできるようになりました(従来は原則として受信したデータはすべてロギングされました)。

あるデータを受信してから、あるデータを受信するまでの間のデータをロギングすること、などができます。

※この機能はSDロガー4の V394X 以降のバージョンで機能します。

■■ リファレンス ■■

PAUSE 文

#PAUSE

ロギング(カードへの記録)を、つぎに受信するデータから停止します。

RESUME 文

#RESUME

ロギング(カードへの記録)を、つぎに受信するデータから再開します。

■■ 使用例 ■■

●(例1)●

「S」から始まり、「T」で終了するブロックのみを記録したい。「S」と、「T」自身も含めて記録したい。

```
#PAUSE  
  
#LOOP  
  
#WAIT DATA /S  
#RESUME  
#LOG S  
  
#WAIT DATA /T  
#PAUSE  
  
#END
```

(補足説明)

記録の再開は、「#RESUME」文のつぎからしか始まりません。
したがってそのままでは、受信したデータ「S」自身は自動では記録されません。
そのため「#LOG S」文で強制的に記録させています。

●(例2)●

「STX(=02h)」と、「ETX(=03h)」に挟まれるデータのみを記録したい。
「STX(=02h)」と、「ETX(=03h)」自身は記録したくない。

```
#f:OMIT :03          ;etx
#PAUSE

#LOOP

  #WAIT DATA :02     ;stx
  #RESUME

  #WAIT DATA :03     ;etx
  #PAUSE

#END
```

(補足説明)

記録の停止は、「#PAUSE」文のつぎからしか始まりません。
したがってそのままでは、受信したデータ「ETX(=03h)」も記録されてしまいます。
そのためオミット機能、「#f:OMIT :03」文で、「ETX(=03h)」を記録させないようにしています。